

メンタルヘルス不調者急増の時代  
企業人事・労務リスクマネジメント

【新卒・中途採用対象】

# 心理精神分析プログラム 職業人適応診断

<英語・中国語・韓国語にも対応>



ヒューマンリソース・リスクマネジメント  
キャリアマネジメントコンサルティング株式会社  
メンタルヘルスケア(EAP)事業部  
厚生労働省・労働者健康福祉機構認定「メンタルヘルス相談専門機関」  
国際EAP協会・日本EAP協会 会員

## ■ 入社応募者・採用予定者の心理精神分析の重要性

近年、企業・自治体においてもメンタル不調社員が急増しています。2009年のメンタルヘルス問題による企業の損失は2兆7千億円と厚生労働省の発表がありました。

従業員の精神的問題による企業の損失は東大大学院医学系研究科の発表では1,000名の企業で約2億円とも言われています。

経済産業省の日本生産性本部の調査によると「心の病」による休職者は、毎年10%の増加傾向にあると発表されています。

新たに採用・雇用した社員が、休職して医師からの診断書により精神的問題が発覚するケースは枚挙に厭いません。それが統合失調症のように重篤な精神疾患であった場合に頭を抱える上司や人事採用担当者の多い現実があります。新卒・中途社員を採用するのも大変ですが、現状の労働法においては、休職加療中の社員の解雇は困難なことです。復職しても、生産性や成果を上げることは期待できない状況があります。

在職中の社員に対するメンタルヘルスの未然予防・早期発見・早期対応は当然ですが、重要なことは、採用の過程でメンタルに問題を持つ者をチェックすることで、それは企業の人事・労務リスクマネジメントとして喫緊の課題になっています。



## ■ 近年の「新型うつ病」社員の問題

近年は若年者の「新型うつ病」が話題になっています。従来の「メランコリー親和型うつ病」と比較して、「ディスチミア親和型うつ病」と分類されています。これは元来のパーソナリティ障害にうつ症状が伴う状態で、それが「新型うつ病」と呼称されています。

どちらの企業も採用に関して、身体健康診断を行うことは当然ですが、稀にストレス診断を行っても、精神健康診断を行う企業は殆ど無い現状です。

新卒の場合、新入社員研修から職場配属までの期間にメンタル問題が発覚することも珍しくありません。そこは何とか乗り越えたとしても、配属された直後に、本来持っていたメンタル問題が表出することもあります。中途採用社員の場合は、試用期間の後にメンタル疾患で休職するケースが多くあります。中途採用に人材紹介会社を利用して、多額の紹介料金を支払っている場合は泣くに泣けないケースや人材紹介会社とのトラブルまでも発生しています。企業は心身ともに優秀な人材を採用することが必要であるため、採用過程において、心理精神分析を行うことは企業の人事・労務リスクマネジメントとなります。



## ■ 心理精神分析プログラムの特徴

当プログラムは、社員の採用において面接や一般的適性検査だけでは分かりにくい心理的問題・精神的疾患の7疾病の可能性をチェックします。チェック内容は以下の通りです。

- ① うつ病（メランコリー親和型うつ病）
- ② 社会性不安障害
- ③ パーソナリティ障害
- ④ 新型うつ病（ディスチミア親和型うつ病）
- ⑤ アスペルガー症候群
- ⑥ 双極性障害
- ⑦ 統合失調症



精神科の専門医師も社会性不安障害やパーソナリティ障害、アスペルガー症候群まで検査する事は余りありません。上記の疾患の中で、統合失調症を除き、心理的問題・精神的疾患が複合している場合は、医師も「適応障害」や「気分障害」などの診断を下すことが多くなります。

これらの心理的問題・精神的疾患を持つ可能性のある者は、社会人として企業に順応・適応が難しいケースが少なくないため、これらの心理検査も含め潜在的な精神的疾患の可能性をチェックします。

※ 診断内容は、DSM-IVやICD-10などの国際的診断基準をベースにして当社が開発したオリジナルプログラムです。

さらに、外国人の就労希望者用に「英語版」「中国語版」「韓国語版」もご用意しております。但し、報告書は全て日本語となります。

## ■ 心理精神分析プログラムの実施手順

調査対象者にはチェック形式の調査用紙を渡して記入して頂きます。設問は全部で160問で、全てにお答え頂きます。

「心理精神分析プログラム」は筆記試験時や面接の後、或いは身体健康診断時に実施して頂きます。（実施時間：約20～30分）パソコンでの実施も可能です。その際は、当社より調査用紙をエクセルデータにてご提供いたしますので、ご入力頂き、メールの添付ファイルでご返送頂きます。

判定結果報告は、記入された調査用紙・ファイルが当社に到着後1週間以内に各心理的問題・精神的問題項目別に判定して、パスワードを設定し、メールの添付ファイルで送付します。

項目	1	2	3	4
1 私は周囲の社会面や経済面に関心がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 私は十分な十分な準備を講ずる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 私は物事を冷静に判断する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 私はわからない事はわかるまで質問する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 物事の仕組みが好きな。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 突然の出来事に遭った時、冷静さを保てられ、興奮する事があつた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 私は人助けの意欲が強い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 一つの事に集中したり、とっさの判断ができる事がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 私は気分転換が好きだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 仕事に集中する事が出来ず、またいつかやらなければならない仕事がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 自分の事を誇りに思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 プラウムに慣れた経験がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 十分な睡眠、お風呂に入る習慣がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 私は人を助けるのが好きだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## ■ 心理精神分析プログラムの結果判定と報告

下記の心理的問題・精神的疾患に罹患している可能性の判定は、精神分析に詳しい臨床心理士や精神保健福祉士、企業危機管理士、キャリア・コンサルタント等が、回答データを分析して行ない、ご報告致します。

- うつ病（メランコリー親和型）の可能性（高い、低い、無し）
- 社会性不安障害の可能性（高い、低い、無し）
- パーソナリティ障害の可能性（高い、低い、無し）
- アスペルガー症候群の可能性（高い、低い、無し）
- 新型うつ病（ディスチミア親和型）の可能性（高い、低い、無し）
- 双極性障害の可能性（高い、低い、無し）
- 統合失調症の可能性（高い、低い、無し）

企業人として適応できるかの評価は下記の評価項目内容となります。

- ① 企業人として適応できる可能性が高い
- ② 企業人として条件（所属部署・業務内容）により適応できる
- ③ 企業人としてはやや問題あるが、適応できる範囲内である
- ④ 企業人として適応できる可能性が低い

※ 回答内容の信憑性も含め、高い精度で結果が出る様な設問となっています。  
※ 判定結果において、採否の参考にして頂きたいと考えています。

- ★ 今の時代、多くの企業が精神的問題を抱える社員の処遇に困惑されている状況があります。
- ★ 当該「心理精神分析プログラム」が御社の人事・労務リスクマネジメントに、貢献出来れば幸いです。

### ★ 無料トライアルも可能です。

詳しい資料、料金体系、調査用紙のサンプル、無料トライアルのお申込み等のお問い合わせはこちらまで

厚生労働省 労働者健康福祉機構「メンタルヘルス相談専門機関」認定  
キャリアマネジメントコンサルティング株式会社  
メンタルヘルスケア（EAP）事業部  
大阪市西区京町堀2-2-1 スミタビル5F

TEL：06-6459-3882（代表） FAX：06-6459-3883

メール：[info@cmck.co.jp](mailto:info@cmck.co.jp)